

麻生連合町内会・麻生社会福祉協議会

会長 田中 巖さん
たなか いわお



〈写真左〉75歳以上の単身者を対象に開催していた「ふれあい昼食会」は、内容を変更し、2022年11月に「ふれあい交流会」として実施。約30名が、ゲームやレクリエーションを楽しみました。〈同右〉中央が田中さん。
●麻生地区社会福祉協議会
TEL.011-757-5810
(麻生総合センター内)

コロナ禍で外出の機会が減り、高齢者の運動不足による身体機能の低下や社会的孤立は深刻な社会問題に。「見守り」の自宅訪問が難しい中、「行けないなら、来てもらおう」と、麻生地区福祉のまちセンターと介護予防センターが協力し、2007年から毎月開催しているサロンに体操教室などのプログラムを積極的に提供。人と人がつながるこの活動をけん引しているのが、田中さんです。「できないと諦めてしまったら、心身の活力が落ちて、介護が必要になる高齢者が増えてしまう。いろいろ制限があっても大変なこともあるけれど、やっぱり地域とつながって誰かと話したり、体を動かしたりする時間は、心身を健全に保つ上で大切なこと」。今後さらにサロンを充実させ、地域の健康づくりにますます貢献したいと元気に語ってくれました。

ひまわり連合自治会防災会

副会長 大坂 登さん
おおさか のぼる
防災部長 大野 毅さん
おおの たけし



〈写真〉防災訓練では実際に消火器を使った鎮火体験や負傷者の救助、避難所に配置する段ボール製のベッドの組み立てなど、有事を想定し、さまざまなことを学びます。参加している地域住民の表情も真剣そのもの。
●ひまわり連合自治会防災会
TEL.011-771-8241

ひまわり連合自治会防災会は、拓北地区の6町内会で構成された組織です。阪神淡路大震災をきっかけに、地域住民の防災意識の向上を目的として、1997年に結成され、以来、毎年の防災訓練のほか、防災マップの制作、拓北小学校での出前講座の実施など、精力的に活動を続けてきました。「東日本大震災以降も、道内では胆振東部地震など各地で大きな災害が発生しています。いざというときに自分と大切な人の命を守るためにも、日頃から防災意識を持つことは必要な備えです」。コロナ禍で、2020年以降、中止となっている防災訓練の再開を見据え、北区役所や北消防署(あいの里出張所)をはじめ、地域の関係機関、さらに近隣町内会との連携を図り、より多くの地域住民が訓練に参加できるよう、現在、準備を進めています。